

おおぞら

ozora

2023年発行
No.128
FRCH

我々は
非行少年に
向き合う

CONTENTS

- 勤務地は少年院
- 心理技官(矯正心理専門職)ってどんな仕事？
- リフレクティングで心の声を聞く
- 社会貢献活動
- ちむどんどん！エイサー発表会

筑紫少女苑

勤務地は少年院

法務教官ってどんな仕事？



筑紫少女苑で勤務している職員で、それぞれの業務内容や法務教官としてのやりがいについて話し合いをしました。



庶務課
庶務係長
久保園教官
平成22年採用

現在、私は庶務係長として庶務課で勤務しています。法務教官を目指した頃には全く知らなかった部署で、拜命後は教育・支援部門で勤務していましたが、5年前に施設の保全や予算執行等を担当する用度係として庶務課にきました。

庶務課業務は、在院者と直接関わる機会はありませんが、在院者を改善更生に導く職員を陰ながらサポートし、また、様々な物品の購入や施設の整備等を通して処遇環境を充実させ、現場の職員と連携しながら施設運営を支える非常にやりがいのある業務です。もちろん、教育・支援部門で勤務した経験も現在に役立っています。

育児との両立のための充実した各種制度も利用しながら、長く続けられる、そして何より自分の成長を実感できる仕事だと思っています。

はい。
筑紫少女苑です。



私は大学時代に学校や児童養護施設などについて学ぶ中で、子どもたちは家族に見せる顔、級友に見せる顔、先生に見せる顔、幼いながらも色々な顔を使い分け、必死に生きていくことを知りました。そして、子ども自身の生き抜く力を信じて再出発の手伝いをする法務教官という仕事は、私にとって魅力的に映り、志望するようになりました。

私は現在、調査・支援係として勤務しています。入院から出院に至るまでの調査や社会復帰に係る業務が中心です。少年院に入院したばかりは、社会での荒れた状態のままの子や、少年院送致を受け止められずに涙する子など様々です。一方で、出院生から明るい知らせを聞くこともあり、職員の日頃の努力が報われたような気持ちにもなります。

これからも寮担任と連携し、在院者自身が未来を切り開いていけるよう手助けできればと思います。

保護観察所等の関係機関とテレビ会議システム等を使用して連携しています。



教育・支援部門
調査・支援係
道手教官
平成31年採用

在院者が文化クラブ
で実際に生けたお花
です。



ています。主な行事として、運動会や成人式、卒業式等を実施しており、行事を通して、在院者は他者と協力することの大切さ、社会の一員であるという責任を感じることができるので、行事は欠かせないものだと感じています。また、クラブ活動や講話は、外部の協力者を招へいし、指導していただいています。コロナ禍なので、例年どおりとはいかず、その点を踏まえて計画を立てるのは難しいと思うことが多いです。しかし、クラブ活動を通して自分に自信がない在院者が、頑張れば自分にもできると自信をつける姿、講話等を通して、過去の非行や犯罪について反省し、更生するためにこれから何ができるのかを考えると、やりがいを感じます。



教育・支援部門
企画係
野底教官
平成31年採用

法務教官として勤務して4年が経ち、現在は**企画係**という主に在院者の行事やクラブ活動の計画、講話の実施計画及び依頼をする業務を行っ

私は、**集団寮の寮担任業務**を行っています。集団寮は、在院者が集団で日常生活を送りながら、他者との関わり方や役割活動を通して成長していくための寮です。寮担任は、寮で生活する在院者を見守り、生活指導や職業指導などの授業や体育を通して指導に携わります。また、担任、副担任としてそれぞれの在院者に二人一組で向き合い、非行に関する内省を深めさせていくことも大きな仕事の一つです。私は、非行等をした在院者に同じ視線で向き合い、更生していくためのサポートをしたいと考え、法務教官を志望しました。実際に勤務してみると、在院者と共に自身も成長し、色々なことに挑戦していける職業だと日々実感します。寮担任は、在院者と関わる機会が多く、指導がうまくいかずに心が挫けそうになるときもありますが、在院者の成長を間近で見ることができると、大きな魅力だと感じます。

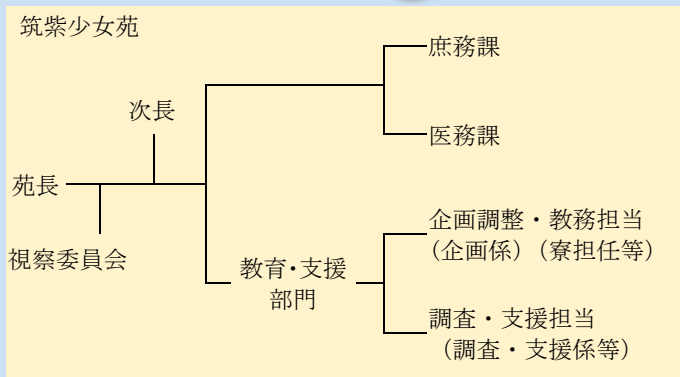


教育・支援部門
集団寮担任
城間教官
令和2年採用

それぞれの話を聞き、お互いに言葉の花束を贈り合いました。



それぞれの業務内容ややりがいについて話し合いをしている風景です。



人を支え、 思いやる仕事です。



【模擬面接場面】

僕の名前はフッキー！
福岡少年鑑別所のイメージ
キャラクターだゾ！



福岡少年鑑別所
イメージキャラクター

心理技官(矯正心理専門職)ってどんな仕事？

非行や犯罪の要因を調べ、立ち直りの為の道筋を探り、更生に向けたプランを立てる心理学のエキスパートです。
その知見を役立てることは、再犯を防ぎ、新たな犯罪者を生み出さないための第一歩です。
心理技官は、その専門性を発揮して幅広く活躍しています。

心

心理技官として

心理学に興味があり、大学で心理学を専攻し、知識や技術を生かせる職業として心理技官を選択しました。

非

行少年に向き合う

最初は、非行少年のことを「こわい」、「話を通じない。」と思っていました。が、少年に寄り添うことで、「背負っているものが違うだけで、同世代の若者と変わりないんだな。」と徐々に印象が変わっていきました。

今でも「話を通じない。」と戸惑う時もありますが、そのことが、少年のことを考える「きっかけ」となっています。

心

心理技官として大切にしていること

自分のものさし(価値基準)だけで、相手を見ないこと(決めつけないこと)を意識しています。でも、これって意外と難しいなと感じています。

勤

務めるに当たって

「余裕を持つこと」を心掛けています。鑑別の結果を提出する期限などに追われると、視野が狭くなり、大事なことが見えなくなってしまう。また、自分が良い状態でない、少年にも良い影響を与えられないので、常に余裕を持つように意識しています。

成

長していくために

焦らず、慌せず、真摯に少年と向き合っていくことが、心理技官としての成長の近道だと思っています。



心理技官について話をする
井手心理技官

心理技官って どんな人たち？！

今からオイラが、「この仕事に就いて、どんなことを感じているか」話を聞くゾ！！



現 大学院生の時に、息子の家庭内暴力に悩むお母さんの話をうかがう中で、暴力をふるう本人自身も様々なことで苦しんでいることが伝わってきました。

臨床心理士の仕事として思い浮かびやすいのは、いじめや家庭内暴力などの被害者のケアだと思います。それに対して、加害者側の支援はイメージが付きにくいかもしれません。しかし、加害行為の背景にある根っこの問題や、本人自身の悲しみに目を向けるためには、臨床心理の知識や経験が生きてくると思っています。

(石丸技官)



石丸心理技官
大学院卒・臨床心理士資格

現 在の仕事を通して

自 分らしく向き合う

最初は、心理の資格を持っていないことに引け目を感じていました。しかし、いざ、仕事が始まると、そのことを周りから気にされることはありませんでしたし、勉強の機会はたくさんありました。

この仕事に就いて数年たち、いろんな施設で勤務しました。最近になり、学生の時に自分が学んでいたこと、好きでやっていたことが、思わぬ形で仕事でも生きていると感じます。(海原技官)



海原心理技官
大学卒・教育学専攻

「学生時代に、どんなことをやっておけばよかったか」皆さんに聞いてみたゾ！！



施設参観や見学等の依頼も、お気軽に御相談ください！

他にも「山に登る」、「裁判を見学に行く」、「海外旅行に行く」など、知見を広げる活動が多く出ていたゾ！

『たくさん遊ぶ』
多くの経験が、鑑別・地域援助等の業務にもつながります。

『映画・音楽に触れる』
いろんなコトバに触れることで、自分の表現力、相手の言葉の機微への理解力を高めることにつながります。

『事例の載った本を読む』
色んな先生の事例の本を読むと、それが自分の指針になると思います。

非行・犯罪臨床の最前線で、心理学の専門性を発揮する仕事です。

求められる 人物象

- 心理学に関する専門性を有する人材
- 異なる分野の人たちと連携・協力して仕事ができる人材
- 再犯・再非行の防止や立ち直りの支援に携わることのできる人材 など

リフレクティングで心の声を聞く

近年取り入れられている面接技法

少年院では、在院者に対し、面接指導が多く実施されます。非行の振り返りや出院後の生活設計など、面接の中では様々な話題が在院者と職員の間で共有されますが、従来の面接は、在院者の話を聞きながら、職員が指導を行うといったものが多く、職員と信頼関係を



福岡少年院

築くためには有効な手段である一方で、職員の指導に対して、在院者側は、どことなく受け身になりがち

な雰囲気があったり、自身の考えがまとまりにくいといった点もありました。そこで近年取り入れられている手法が「リフレクティング」です。

リフレクティングって何？

リフレクティングは、「聞く」と「話す」ことから成り立ちます。日常的な会話や話し合いでは、ともしれば力の強い者が一方的に話し、もう一方は聞くだけになってしまいうことがありますが、リフレクティングでは、「話す」と「聞く」ことを丁寧に分けることで、「行きつ戻りつ」することができるための仕組みが適切に工夫されています。

自分の中の声を意識する

リフレクティングでは、話のテーマを提供する話し手、話し手と会話を進めていく聞き手に加えて、第三

者である観察者の三者で実施されます。手順としては、図1及び図2のよう

に聞き手がそれぞれの話を聞くことを繰り返して、最後は必ず話し手と聞き手の会話を終わります。図2のように話し手が聞いている場面がありますが、これは自問自答することで自分の考えを整理し、新しい気持ちや本当の気持ちなど、自分の中の声(内的会話)に目を向ける余裕を持つことが目的となります。いかに自分の中の声を意識できるかが、大事なポイントとなります。

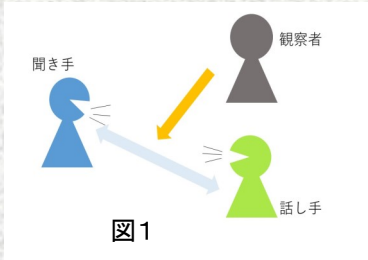


図1

リフレクティングの基本的な構造

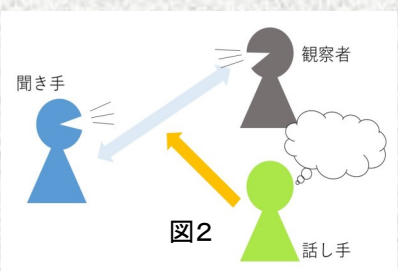


図2

実際にやってみて



リフレクティングを実践している丸山教官

リフレクティングに取り組むことで、職員も在院者の話をより丁寧に聞くという習慣が付き、在院者にとってもリフレクティングが「安心して話せる場」という認識が定着しつつあり、参加した在院者の感想の中にも、「自分の考えを整理することができた。」など、好意的なものが多く見られます。対話的な面接の中で、在院者と一緒に解決策を見つけていく、そんな心持ちで取り組むと、職員という立場よりも一人の人間として自然体で話すことができていくように思います。



「沖縄少年院」 社会貢献活動



どんな作業を任せられましたか？

返却された本の点検や書架の整理です。



作業中、気づいたことはありますか？

協力、挨拶、声掛けです。頭では知っていましたが、図書館の職員さんの姿を見て感じました。



図書館の職員さんの仕事する背中を見て感じるものがたくさんあったようですね。

大量のみんなの大切な本を扱うという責任を伴う皆さんの仕事を見て、誰かのために役立つ仕事がしたくなりました。



あなたの仕事ぶりを図書館の方に聞いてみました。とても丁寧で細かな汚れを見つけてくれたと褒めていましたよ。

すごくうれしいです。これからも任せられた仕事は工夫し、責任感を持って全うしたいです。

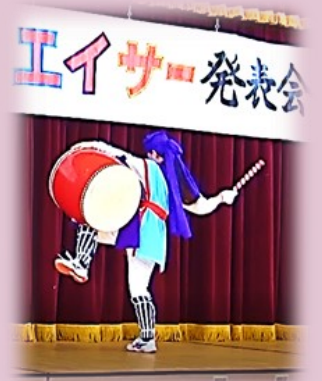
沖縄県立図書館において、社会貢献活動を行った在院者と職員とのやりとりです。

身近に働く人を見て感じたこと、一見では分からない作業の難しさ、人に役立つことの充実感など、今回の活動ではたくさんの収穫があったようでした。

「沖縄女子学園」

毎年8月頃になると、沖縄では各地でエイサーの太鼓の音が鳴り響き、お盆を告げる夏の風物詩となっています。エイサーとは、お盆の時期に現世に帰ってくる祖先霊を送迎・供養するために、三線や太鼓をならしながら、家々を踊り歩く沖縄の伝統芸能です。

沖縄女子学園では、この時期に合わせて体育の授業にエイサーを取り入れています。初めのうちは、フェーシ（合いの手）の声も小さく、動きもバラバラな在院者ですが、何度も練習を重ね、時には自分たちでアイデアやア



ドバイスを出し合いながら、少しずつ上達していきま

す。
約2か月後の「エイサー発表会」では、在院者の家族や外部のお客様をお招きしてエイサーを披露することがあり、在院者にとっては、成長した自分たちの姿を披露する大切な機会でもあります。在院者の勇壮な演舞と三線や太鼓で奏でられる音楽は、見る者をちむどんどん（高揚感を伴う感動を表す沖縄の方言）させてくれます。



ちむどんどん！
エイサー発表会

【管内少年施設 紹介】



鹿児島少年鑑別所
(法務少年支援センターかごしま)

少年鑑別所では、「地域援助」として、万引きなどの問題行動にお悩みの方の相談や、非行・犯罪に関する講演等の依頼に応じています。当所は、近くに鹿児島大学と志学館大学の2大学があるという土地柄もあってか、大学生・大学院生を対象とした「少年鑑別所の業務」や「非行少年の心理」についての

講義依頼がよくなされます。特に近年はこの講義等が心理学の国家資格「公認心理師」の実習とみなされ、依頼件数は増えています。数をこなして職員の説明も分かりやすくなり(?)、ついに「話を聞いたらもっと詳しく知りたくなった」という学生さんが、この夏のインターンシップに応募してくださいました！皆さんも少年非行のお話、聞いてみませんか？

お悩み相談や講演等の依頼をお待ちしております！！



全国の少年鑑別所では地域援助業務の一環として、様々な悩みを抱えている方に対する心理相談が行われています。

当所では、平成28年4月の熊本震災において、近隣住民の方に対して、当所の会議室を避難場所として提供し、被災者の方の話に耳を傾けるなどの復興支援活動を行いました。近隣住民の方のご理解を得たことにより、震災から7年経過

した現在も、復興支援活動(地域援助業務)の一環として



熊本少年鑑別所
(法務少年支援センターくまもと)

て、近隣中学校の生徒に対する心理活動を続けています。年月の経過とともに、被災経験に起因する相談はほぼなくなりましたが、近隣中学校から定期的に依頼をいただき、生徒やその保護者の方に対して助言や心理的サポートの活動ができています。今後も、熊本の復興や近隣地域の非行・犯罪防止に寄与するよう地域援助業務を進めたいと思います。



復興支援を行う
熊本少年鑑別所職員



被災した熊本城

法務省公式Twitter



https://twitter.com/MOJ_HOUMU

You Tube 法務省ch



<http://www.youtube.com/MOJchannel>



@MOJ_KYOUSEI

矯正局公式Twitterをフォローしよう！

編集・発行

2023. 2発行 (年1回)

福岡矯正管区第三部

福岡市東区若宮5丁目3-53

電話 092-661-1137

